[道政かわら版 第10号]
喜多龍一十勝連合後援会
〒089-0533
中川郡幕別町札内新生町174番地16
TEL/(0155)56-7755
FAX/(0155)56-7766
発行責任者／泉 耕治
発行日／平成18年1月8日

赤れんが 道政かわら版

RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No,10

2006 新年あいさつ

北海道議会議員
喜多 龍一

明けましておめでとうございます。

旧年中のご厚情に感謝を申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導ご叱正をお願い申し上げます。

おかげさまでこの四月には道議会議員初当選から丸十一年になり、昨年十二月には勤続十年以上表彰をいただきました。これもひとえに皆さんのご支援のおかげと、心から感謝申し上げます。一層気を引き締め少しでもこれからの北海道のためになるよう、仕事の質を高めていきたいと思いを新たにしているところです。

●高橋はるみ知事と

昨年を振り返ると大阪の小学校に十七歳少年が乱入教職員殺傷事件や少女監禁事件など、青少年による凶悪犯罪はやむことがありません。尼崎のJR脱線・衝突死者百七人や耐震構造計算書偽造は、公益性の高い分野における規制緩和・民営化の在り方が問い直される事件でありました。公共性・公益性を担保する仕組みをどう織り込むかについて郵政民営化や政府系金融機関の大統廃合・更には年金問題のこれからを参考にしないといけません。

また政府系のお金を民のどこにどのような目的とやり方で流し込もうとしているのか、国民の預貯金の金利をゼロにし銀行の貸付金利で銀行救済をしている片手落ち政策に加え、税制全体の見直しでなく、個々の税目ごとに全体として増税の方向に向かっているように実感してきている今日、一人納税者の犠牲の上に維持される国家とは一体何なのか、疑問です。IT会社による一連の放送各社の買収劇もそうですが、証券会社発注ミスによって数百億円の損失をし、二十代の男性が数十億円を手に、ミスと言っても返さないと表明。モラルの問題など多々あると思いますが、想定外とは言えこうなることもなったことも現実なんだということを私達は認めなければいけないし、既にIT社会はこのように流れていて、取り残されていく私達世代を含め、どうすればいいのか、今大きく問われはじめたと思います。

台風十四号で死者不明二十八人、超大型ハリケーン「カトリーナ」でニューオリンズ市の八割冠水の大惨事、パキスタン北東部地震で日本人父子を含む死者七万人超など一昨年につづき大規模自然災害は、その対応や地球環境の変化など多くの教訓を私達に残しました。

原油価格の高騰は我が国の経済産業生活のあらゆる分野に大きな影響を与えています。世界のある者は「これまでの価格が安かったんだ」との見解を示し、原油価格の見通しが不透明な状況です。いまこそ本道における液化ガスへの取り組みの加速化や二次エネルギーからの脱却を、ドイツやフランスのように目標数値を掲げて地域エネルギー・再生エネルギーの取り組みを本格化すべきであり、本道がエネルギー集積基地を目指すと、次期（平成二十年から）北海道長期計画に盛りこみたいと考えています。

昨年四月には、日本の安全保障理事国入りの動きなどに反発し、中国各地で反日デモが発生、しかし中国全土で続発する暴動は拡大する貧富の差と十月中国東北部への化学工場爆発事故により猛毒を含む工場排水が松花江からアムール川に達したことに見られる公害によるものと伝えられています。これに対し日本は苦情だけを言い、ロシア・中国は河川汚染問題に共同で対処することで合意、北海道大学もハルビンの大学に共同で河川の浄化に乗り出すことになりました。経験と技術のある日本が何故協力しないんだろう、北海道がやれることを産・学と協同して取り組もうと思います。北朝鮮の拉致問題についても日本はそれだけを主張し、六ケ国協議ではカヤの外に置かれ、一方で欧州連合（EU）を中心に取り組んできた国連人件委員会の取り組み（北朝鮮問題を含む）に、日本は昨年末やっと参加したのです。北朝鮮にとって核査察も経済制裁もありますが、人件査察は重大事で年末の国連の動きに対し北朝鮮は敏感に反応しています。日本はあいかわらず「これはこれ」式でやるべきことを見失い目先の利害得失にこだわり、大局観を失っているように思えてなりません。それでは、到底近隣諸国や世界と信頼関係を築いていけないと思います。

●北海道私立中学高等学校理事長・理事・校長研修会

最後に、今年と来年を集中対策期間として道の再建団体転落を何としても防がなければなりません。そのために道議会も道も道民の皆さんとともに一定の痛みをともにして頑張ろうと昨年議論を重ねてきましたが、今時点で道議会の給与削減がまとまっていないのは残念で恥ずかしいこと、年度内に成果を得るべく頑張ります。そして平成二十年からの新たな北海道長期計画及び教育ビジョンの案を年内にまとめることになっております。極東・アジアとの交流も視野に入れ、言葉の壁をとりはらう外国語教育や個性や思いやりを大切にする教育など人づくりに、地方分権の拡大をテコに、仕組み変えや北海道がもつ潜在内・地域力を掘りおこし、活力に満ちた北海道 夢のある北海道を目ざし、微力ながら今年も精一杯頑張りたいと思っております。

皆さんの変わらぬご指導をいただきますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さんにとり良き年となりますよう念じ、年頭のご挨拶といたします。

●十勝連合青年部研修会

新年あいさつ

喜多龍一十勝連合後援会
会長 泉 耕治

後援会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

我等が道議は、北海道議会文教常任委員会委員長として、その存在感を示し相応の活躍を続けております。

我が国は今、世界有数の巨大赤字の借金国。おまけに「高齢少子化」だからお先真っ暗。

私達が望む事は、地域に住む人々に対し必要な「サービス」は受け続けられるような地域社会を守ってほしいということです。

喜多道議を筆頭に真の地方分権の確立にむけて、共に頑張りましょう。

今年は皆様にとりまして幸せ多き一年であることを心からお祈り申し上げ新春のご挨拶とさせて頂きます。

平成18年1月元旦

●十勝連合役員会

●大津漁港プレジャーボート開放記念式典

決算特別委員会（農政部審査）
質問骨子

中山間地域等直接支払い交付金について

中山間地域等直接支払制度は、傾斜地が多いなど農業生産条件が不利な地域においては、耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が懸念されることから、農業生産の維持を通じて、こうした機能を確保する観点から平地地域との生産条件の格差の8割を直接支払うものとして、平成12年度から16年度までの5か年の対策として講じられたものと承知している。

また、平成17年度からは、今期対策としての5か年がスタートしておりますが、国の平成17年度予算原案内示において、今期対策が決まったことから、本年1月に入ってから道の予算に計上された経緯について記憶に新しいところである。

●政策調査委員会

（一）前期対策の評価と課題について－略－

（二）北海道における前期対策の評価について－略－

（三）前期対策の課題等について

交付要件については、対象者、対象地域及び対象農地、集落協定の内容、交付金の使途規程等が掲げられている。5か年の前期対策期間の評価の中で、本道農業の特徴を踏まえた問題点や課題について、どのようなものがあったか、それらのことを今期対策にどのように反映しようとしているのか伺う。

（四）対象農用地の増減等について－略－

（五）交付金の使途などについて

①交付金の基本要件の概要について

交付金の使用内容及び活用目的など使用方法について、「北海道中山間地域等直接支払交付金実施要領」で、集落協定の場合については、集落への交付額の概ね1／2以上を集落の共同取組活動に充てること云々」となっている。

50％未満の集落について、道としてどのように対応されるのか見解を伺う。また、実施要領の中で交付金の返還規定がある。集落協定や個別協定などに違反した場合は「交付金を協定認定年度に遡って返還する」と明文されている。

50％未満の集落について、どういうことになるか、見解を伺う。

（六）本制度と土地利用型酪農について－略－

①（一～（五）3関連　再）

先程来から、（共同取組割合が50％未満であっても）事業の要領から概ね2分の1ということで妥当だという答弁が繰り返されたが、概ねという表現が、税の使途として、事業の要領になじむものなのか、部長の所感を伺う。

③　10月に国においてまとめられた「経営安定対策等大綱」の3本柱の一つである「農地・水・環境保全向上対策」。これは、土地利用型よりも制度上、共同活動のメニューも取り組む人もかぶる可能性大。しかも、三つの取組があり、それぞれに国と地方などの役割分担がうたわれている。つまり交付単価の負担を応分に持ち合おうという仕組みである。モラルハザードの懸念がある。部長の見解を求める。

●雲城町長室

④　道として今後、持続可能な本道農業を展望した播種の必要がある。輪作体系の有効性を無視し、地力が著しく低下。そのため例えば、農薬をタマネギに20回も散布。地力があれば1～2回の防除で済む。また、酪農におけるクォーター制度（環境→飼料給バランス→経営安定→持続可能な環境配慮型酪農畜産の確立）の調査研究も必要。

WTO農業交渉の結果如何によっては、収益性を著しく損なう作目もでてきて、輪作体系が維持されない事態も予測される。それに代わる作目に取り組む農協は産地基盤の新たな整備が伴う。そうした前向きな取組を支援する。

施策は縦割りの中で孤立的に制度設計されるべきではない。経営所得安定の新たな制度設計を始めようとした5年程前の国の議論の方向は、データ整理と分析、既存の農業災害補償制度から諸外国の直接支払制度の調査研究など、幅広く検討し、制度設計をしていくと記憶している。現状は全くばらばらに施策がうたれている。

道として取組を国に提言すべき。道農政が日本の農政をリードしていくべき時にきている。部長の決意を含めた見解を求める。

広尾漁業加工処理施設（広尾町）　子育て支援センター（広尾町）

北海道知事高橋はるみ まちかど対話［十勝支庁・南十勝］

開催日程:平成17年10月11日(火)～12日(水)
開催場所:中札内村、更別村、忠類村、大樹町、広尾町

スケジュール

◆米山食品（中札内村）

地場産品の大豆「大袖の舞」を使った豆腐の製造工場を視察しました。また、直売所ではこだわりの豆腐を試食させていただきました。

◆福祉の里総合センター（更別村）

更別村の保健医療福祉施設を視察し、お年寄りの方々と風船バレーボールで交流しました。

◆忠類村育苗センター（忠類村）

アカエゾマツやトドマツなどの苗木の育成を行っている育苗センターを視察しました。

◆タウンミーティング（忠類村コミュニティセンター）

南十勝で食や観光など様々な取組みをされている6名の方々と「地域資源の活用を考える」をテーマに、意見交換をしました。

［主な意見及び取組状況］
●チーズづくりの人材育成について
●水エーの活用について
●養豚業に対する補助について

●育苗センター（忠類村）

◆農事組合法人コスモアグリ（大樹町）

酪農を中心に畑作、肉牛生産の大規模複合経営を展開する農場を視察しました。

◆子育て支援センター（広尾町）

広尾町の保育所に併設された「子育て支援センター」を視察し、施設利用者の親子の皆さんと交流しました。

◆広尾漁業協同組合・女性部（広尾町）

広尾漁業協同組合の冷凍冷蔵処理加工施設を視察しました。また、十勝港ターミナルビルで広尾漁協をはじめ、広尾町の産業界の女性部の方々と懇談をしました。

●農業法人コスモ（大樹町）

●十勝港（広尾町）

●子育て支援センター（広尾町）

●中札内道の駅にて昼食（中札内村）

●福祉の里総合センター（更別村）

～知事より［ホームページから］～

私からは二つ申し上げます。

一つは昨日今日と、まちかど対話で南十勝を回って来いりましたので、そのことについてのご報告です。十勝管内には、何回もお邪魔をしておりますが、まちかど対話という形で十勝管内に入らせていただいたのは、初めてです。昨日今日と、南十勝5町村を回らせていただきました。天候にも恵まれたせいもあるのでしょうが、印象としては、十勝農業について、あるいは農産を含めての一次産業について、豊かさを実感したというふうに感じたところです。

まず、中札内村で昼食を食べさせていただいた後、地元の大豆を使ったこだわり豆腐を作っておられる米山食品というところに参りました。この方で売っておられたものも試立させていただいたのですが、本当のところを言いますと、その製造現場を拝見した中で、これから木綿とか絹ごし豆腐の型にはめる直前という、生豆腐というのでしょうか、それを一口いただいたのですが、実はそれが一番おいしかったと思ったところです。いずれにしろ、できたての豆腐のおいしさというものを再認識いたしました。

それから、更別村に参りました。ここは、一人当たりの医療費が全道一低いということが有名なところです。医療費というのは低ければよいということではなくて、当然、その大前提として、村民の方、地域の方が健康でいらっしゃることが大切なわけです。

更別ではご多分に漏れず高齢化が進んでいるわけですが、そういった高齢者の方々に対する総合的な保健医療福祉の取り組みという中で、健康診断の受診率の高さ、それが予防にもなっているようなこと、それから、これは別に行政の努力というよりも地域の特徴ですが、更別は高齢者の独居率が低いんだそうです。そういった好条件もあって、医療費の低水準というのが実現できたのかと思います。実は、後志興内の寿都町というところで、家庭医という、専門的分野のお医者さんというよりも、一般的にはすべての科に対応しうるような診断、治療というのが家庭医という概念ですが、そういったことの取り組みを聞いてきたのですが、こちら更別でもそういった取り組みがなされているということを確認させていただきました。

忠類村では、地元の森林組合だけではなくて、道がやっておりました苗木づくり、種苗センターを引き継がれた現場を視察しました。そこから苗木が出荷されて、道が行っています全道的な緑づくりのための苗木になっていくというところです。地域の雇用にもつながってきているというお話があったわけでして、こういった地元の産業があるからこそ、北海道の緑づくりがスムーズに行われるのではないかと思った次第です。

それから、今日に入りましては、まず、大樹町で農事組合法人のコスモアグリに行きまして、農家5戸が共同で事業を営んでおられる、酪農、畑作、肉牛などを組み合わせた大規模な複合経営をやっておられる現場を拝見しました。

私は、時間の関係で、主として酪農の現場でしたが、自動搾乳機、バーラーというのでしょうか、ラウンドになっているようなところとか、それから子牛がかわいかったですね。ちょっと手をかまれましたが、子牛に餌もやらせていただきました。

その後、広尾町では、道内でいえば恵庭市などと双璧ですが、子育て支援やブックスタートなど子どもに対するいろいろなケアが、地域の取り組みとして有名なところですが、子育て支援の取り組みを拝見し、子どもたちとご高齢のおじいちゃん、おばあちゃん方が仲良くやっておられる現場も拝見いたしました。

広尾の後半は、秋鮭などの水産物の加工処理の様子を拝見し、町内の浜のお母さん方、漁組の女性部の方々、商工会、その他関係の方々と会食もさせていただいたところです。

これも、晴れた天気のせいもあるのでしょうか、お年寄りもお元気だったし、子どもたちも元気一杯だったし、とっても楽しい一時を過ごさせていただきました。

北海道知事　高橋はるみ

新聞記事から

[北海道新聞　平成十七年二月二十四日]

定例道議会　焦点の財政再建問題

人件費めぐり与野党対立

危機的な道財政の立て直しが最大の論点となる第一回定例道議会が二十三日、開会した。与党側は道職員の給与や定数の削減など、大胆な行政改革を道に求める構えで、併せて「議会も血を流すべきだ」という議員報酬カット論も急浮上してきた。これに対し野党側は「安易な人件費削減はすべきでない」と慎重な姿勢で、与野党の対立が際立ちそうだ。

議員報酬カット論も

最大与党の自民党・道民会議の喜多龍一政審委員長は「道に職員給与と定数の大幅な削減、徹底した歳出見直しを求めていく。道、道議、道民が一丸となって財政再建に取り組むべきだ」と述べ、道議も痛みを負うべきだとの考えを示す。

こうした考えは会派内にも広がっており、ある幹部は「議員報酬や政務調査費、交通費の見直しは当然。最終的には議員定数の削減も考えるべきだ」と話す。与党の公明党議員団も「大胆な行革は避けて通れない」（荒島仁団長）と、道に人件費削減や業務の見直しを求める方針で、議員報酬カットにも前向きだ。

これに対し野党の民主党・道民連合の三津丈夫幹事長は「国の財政運営失敗のツケが地方に押し付けられている」と指摘、人件費削減は「安易な地方公務員不要論であってはならない」と、支持基盤の全道庁労組への配慮も。議員報酬削減も「道民に痛みを求める際、道議としてどう判断するかだ」と明言を避けた。

野党の共産党道議団の大橋晃団長は、道の財政立て直しプラン前倒し方針を「対症療法的だ」と批判、「安易な人件費削減は容認できない。その前に無駄な公共事業を削るべきだ」とし、強調する。議会改革は「道議報酬や議員の海外視察は、見直すべきだ」との考えだ。

中間会派フロンティアの井上寒澄幹事長は「給与削減には限界がある。事務事業の見直しや外部委託などで人員削減を進めるよう求める」との立場。議員報酬見直しは「検討しなければならない」としている。

[十勝毎日新聞　平成十七年三月十九日]

行革で推進本部設置

道議会予特委

道議会予算特別委員会が18日開かれ、道の財政再建について自民党・道民会議の喜多龍一氏（十勝支庁）が質問した。道は新しい行政改革大綱の策定について新年度、知事を本部長とする推進本部を設ける考えを示した。

喜多氏は「行革大綱の策定は各部横断的なプロジェクトチームをつくり、全庁あげて取り組むべきだ」と強調。道は「新年度直ちに推進本部を立ち上げ、その下に関係職による検討体制を整える」とした。

喜多氏は職員数適正化計画に関し「教育庁や道警も含めるべきだ」と指摘。原田浮志総務部長は「道財政はこれまでにない危機的状況。教育や警察官も含めた人件費の削減は避けて通れない」とし、新しい計画には道教委や道警本部も含める意向を示した。

[十勝毎日新聞　平成十七年三月二十三日]

電話交換員など技能労務職員

民間委託を検討へ

[札幌]道議会予算特別委員会の知事総括質疑が22日午後行われ、財政立て直しに関して、自民党・道民会議の喜多龍一氏（十勝支庁）が技能労務業務の見直しを求めたのに対し、高橋はるみ知事は「新しい行政改革大綱の策定と併せて具体的に検討していく」と答えた。

道によると、公物管理員や電話交換員など技能労務職員は約2300人。同職員の給与は行政職給与表を用いていることから、「同職員の給与水準が高い」との指摘もあり、喜多氏は「民間開放を進め、配置転換することが求められている。行政改革大綱にもしっかりと位置付けるべきだ」と述べた。高橋知事は「道庁経営のスリム化のためには、技能労務を含む事務事業について民間委託を推進していく必要がある」とし、「民間委託により業務が廃止される職員の職務替えを円滑に進める仕組みの在り方などを具体的に検討していく」と述べた。

さらに喜多氏は、道が2007年度から廃止している退職時の特別昇給について今年度からの廃止めを求め、「職員団体と再交渉すべきだ」と詰め寄ったが、知事は明確に答弁しなかった。

[十勝毎日新聞　平成十七年三月三十日]

政治スポット

喜多龍一道議（十勝支庁区）が来社

29日午後4時すぎ、十勝毎日新聞社を訪れ、24日に閉会した第1回定例道議会について語った。

焦点となった財政問題に特に力を注ぎ、財政立て直しプランについては「実効あるものにしないといけない」と取り組んだ。

道伝子組み換え（GM）作物の栽培を罰則付きで規制する条例を議員提案で提出し、全国で初めて制定した。農家による栽培に知事の許可が必要で、通常の作物との交雑・混入を防止する内容に「将来の北海道と十勝をどういう大地にするかという大切な問題。地元からも励ましの言葉を受けて取り組んだ」と成果を誇った。

●大臣政務官　有村治子氏と

[十勝毎日新聞　平成十七年六月十七日]

文教委員長　喜多龍一氏

子供の視点に立った教育を

少子化が進む中、教育、人づくりの重要性は増している。大人の論理やそのぶつかり合いの中で教育論議が揺れるが、それらを排除し、徹頭徹尾、子供の視点に立ち、どのような教育環境を整えるべきかを考えたい。道教委の教育ビジョン（2008年度開始）づくりにもこうした考えを反映させる。

[北海道新聞　平成十七年十一月十二日]

公物管理員業務民間委託を検討

道、本年度から

道は十日、道道や河川など公共土木施設の維持管理を行う職員（公物管理員）の業務について、民間委託を検討することを明らかにした。十一月中に公表する行革大綱に盛り込み、本年度から検討に着手する。

道議会決算特別委員会で自民党・道民会議の喜多龍一氏（十勝管内）の質問に答えた。

公物管理員は道内十ヵ所の土木現業所やその出張所などに計三百十人を配置。道道や河川などのパトロールをはじめ補修作業や障害物撤去などの応急措置も行っている。

二〇〇四年度の給与額は計十九億八千万円。旅費やパトロール経費として二億四千六百五十万円別に計上している。

[北海道通信　平成十七年七月十九日]

国庫負担の根幹草重を

道議会文教委が文教施策要望

文科省で喜多委員長など

道議会文教委員会はこのほど、文部科学省で十八年度文教育施策要望を行った。

要望活動には、喜多龍一委員長をはじめ、六人の委員が同行。大きな問題となっている義務教育費国庫負担制度について「制度の根幹の尊重」を強く求めた。

ことし秋の中央教育審議会での結論を踏まえ、その取扱いが決定される義務教育国庫負担制度。この在廃をめぐっては、全国知事会議が一般財源化を求める一方で、地教委や校長会では、制度の堅持を求める声が高まっている。

この日、道としての国に対する文教施策要望活動には、道議会文教委の喜多委員長、蝦名清悦副委員長など六人が同行。文教委を代表し、近藤伸司文部科学審議官など文科省の各方面に各種施策の充実について要望活動を行った。

要望では、最重点要望である義務教育国庫負担制度に関し、教育の機会均等と教育水準の維持・向上が確保されるよう、「制度の根幹を尊重」した上で検討するよう強く要請。このほか、学校施設の耐震化など、公立学校施設の整備促進に向けた施設の充実などを要望した。

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC
発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
自由民主ホームページ　URL http://www.jimin.or.jp/

喜多龍一 2005年 活動写真集

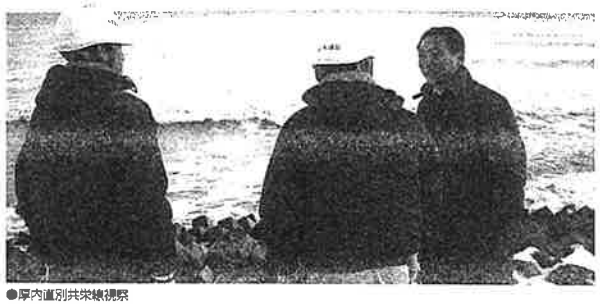
●女性の集い

●池田町バンケ川視察

●岡清会野遊会

●菅更野遊会

●パッチ選手権（陸別町）



●厚内道別共栄線視察

我輩は秘書である

我輩は秘書である。

近年、これまで考えられないような様々なサプライズな事件・事故・災害が日本のみならず、世界各地で発生しています。

被害者・被災者の方々にお見舞い申し上げるとともに、後対策は政治にあると考えていますので、ご主人様におしのべべンされながらなにか力になれればと思っています。

そんな中、我が北海道においては苫駒が甲子園連覇という我輩が子供の頃考えるとありえないと思っていたとんでもないサプライズがありました。そして、多くの道民に元気を与えてくれました。

しかし、なんといっても昨年一番のサプライズはご主人様が国家的試験に挑戦しみごと一発で合格したことです。

みんなに乗事を祝福され、一人若葉マークを輝かせ、さっそうと車を転がす姿を見たとき、我輩の役目がなくなるのではと涙しました。

最後に我輩も皆様に今年こそはサプライズな報告が出来たらいいなぁ～と思っています。

ご主人様ともども今年もよろしくお願いいたします。

編集後記の代わり

匿名M秘書